

タイ6期松生敏子（まついけとしこ）  
国際交流基金“日本語パートナーズ”  
サティセタブットバンペン校（バンコク・ミンブリー）

第18回派遣報告 「ラーマ5世」

2019年1月

バンコクの南、サムットプラカーンに遠足に行きました。

タイ湾に面した、昔フランスの攻撃から守るため造られた、ラーマ5世の要塞を見学しました。日本製の軍艦も展示されていて、中を見学することができます。

ラーマ5世の在位は、明治天皇と同じ時期です。ヨーロッパ列強の植民地政策があり、タイの一番困難な時代でした。幼少期の王子名はチュラロンコンで、イギリス人女性から英語と世界情勢を学びました。チュラロンコン大学として名前が残っています。法律の制定・教育制度・交通・郵便制度の近代化に努めました。領土の1/3は割譲しましたが、タイの独立を守った国王です。



対岸にあるムアンボーラン、アンシエントシティ (Ancient City) も見学しました。タイ全土の王宮・遺跡・寺(ワット)のジオラマ(diorama)があります。ワット・プラケオやワット・ベンジャマボピットは実物のようでした。広大な敷地に、50年間以上、そして現在も作り続けられていて、スケール(scale)が大きいです。

最後に、景品付きのくじ引きのミニゲーム(mini game)あったので、見学後の集合は短時間に済みました。

日本語掲示板に、新年の挨拶と年賀状を張り出しました。